

は　じ　め　に

鹿児島県北西部に位置する本市は、ラムサール条約登録湿地（平成17年11月登録）となった「蘭牟田池」、本市の中央部を貫流する「川内川」、東シナ海に浮かぶ「甌島」など美しい水辺の空間に恵まれ、その多彩な自然環境の下で様々な動植物が生息しています。

しかしながら、昨今「ゲリラ豪雨」と表される局地的豪雨を始めとする自然災害が、日本国内のみならず、全世界規模で近年顕著に見られ、今や環境問題は地球規模にまで広がり、人類の存立基盤に深く関わる問題となっています。

このような状況の中、本市では、環境保全施策を計画的に進め、また、緊急課題である地球温暖化から生活環境の保全までの幅広い環境保全対策に対応していくため、平成19年9月に薩摩川内市環境基本計画を策定しました。

今後とも自然環境及び生活環境の保全、公害の防止対策を本市の重要な施策として位置づけ、薩摩川内市発展のために環境保全対策をさらに推進してまいりたいと考えております。

本書を通じて、本市の環境の状況と施策についての理解を一層深めていただき、市民・事業者・市が協働して環境の保全と創造に向けた具体的な取り組みを進めていくための一助となれば幸いです。

平成21年3月

薩摩川内市長　　岩　切　秀　雄